

12月3日(土)交流ひろばで、庄内浜文化伝道師の相田満春氏と佐藤善友氏を講師にお迎えし、 「地魚を食べよう!料理教室」を開催しました。外国出身者2名を含む13名の方が参加しました。今回の食材は庄内浜で獲れた新鮮な鮭、ハタハタ、口細力しイです。 参加者からは「実際に魚屋で売っている地魚の調理法を学べてためになった」「今日習った料理を いえていた。」とうないよう。



このかい 5.3 したうなりますんかでんどうであいた 今回の講師、庄内浜文化伝道師の相田 満署義とと佐藤善援氏。



本日の食材。左上から時計回りに、 よたたたくご細力して、 離力して、 起きたた。 たたいたか



調理開始です。みんな熱心に先生の 説明を聞いています。



「言語かれいは、火の道りがよく覚た自 が良いよう飾りをすっを入れます。



講師のお220は、講望しながらも 参加者の質問に丁寧に落え、地策のこ とを皆冷教えてくださいました。



トラバラの下処理「壺抜き」。 焼些に コッを教わって、みんなで挑戦!



美味しくできました!
どうさから時計回りに、 「たかったかった。
を書いていたいで、 「たかったかった。
ままで、 パークトラの湯上げ、 詳の学学
パー、 パークランにん、 詳のポイル焼き。
・



鮮のホイル焼き。今回は疎噴とバター で乾付けしました。



差はしい「超駕料理をいただきながら、 「遊簫のお話をたくさん聞き、 ●美味しくてためになる料理教室にな りました。